



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL https://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績（2022年9月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	2,283	59.0	138	150.8	150	148.3	75	76.6
2022年8月期第1四半期	1,435	△35.2	55	△66.4	60	△67.6	42	△65.0

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 75百万円 (82.1%) 2022年8月期第1四半期 41百万円 (△67.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	11.65	11.51
2022年8月期第1四半期	6.64	6.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	14,331	9,706	67.3
2022年8月期	14,482	9,727	66.8

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 9,651百万円 2022年8月期 9,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,900	65.5	420	261.8	420	239.1	300	609.2	46.38
通期	9,300	26.1	580	61.7	580	46.2	394	154.8	60.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年8月期1Q	7,360,000株	2022年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	892,350株	2022年8月期	892,350株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年8月期1Q	6,467,650株	2022年8月期1Q	6,424,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数減少に伴い、個人の消費活動が活発化し、企業の設備投資についても、堅調に推移しつつありましたが、内外金利差等を背景とした円安傾向や、ロシアのウクライナ侵攻による政情不安、これらに起因する物価高などにより、依然として先行き不透明な状況にありました。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微でありましたが、国内外景気の先行きについては、当面、厳しい状況が続くと見込まれ、感染症が国内外経済をさらに下振れさせるリスクに十分注意する必要があるなど、不透明な状況が続くものと見込んでおります。

このような状況の中、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、主として金属加工事業においてオーダー加工品の案件が増加したことと、建設事業における電気工事及び内装工事の伸長やM&Aによりグループ化した株式会社晝会の業績寄与により、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,283百万円（前年同四半期比59.0%増）、営業利益は138百万円（同150.8%増）、経常利益は150百万円（同148.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は75百万円（同76.6%増）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したことで、売上高は1,143百万円（前年同四半期比12.2%増）、セグメント利益は58百万円（同2.5%増）となりました。なお、受注高は1,352百万円（同15.6%増）、受注残高は1,451百万円（同3.0%減）となりました。

(ゴム加工事業)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組み、一定案件の受注を確保しましたが、材料比率が若干上昇し、売上高は288百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は60百万円（同11.0%減）となりました。なお、受注高は283百万円（同2.4%減）、受注残高は114百万円（同7.5%増）となりました。

(建設事業)

グループ間の情報連携を図り、電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M&Aによりグループ化した株式会社晝会の業績寄与により、売上高は852百万円（前年同四半期比549.5%増）、セグメント利益は86百万円（前年同四半期は3百万円）となりました。なお、受注高は2,492百万円（同409.4%増）、受注残高は4,440百万円（同750.8%増）となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△66百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,645百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が306百万円減少し、原材料及び貯蔵品が141百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は4,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ101百万円減少いたしました。

この結果、資産合計は14,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,234百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が106百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は2,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は4,625百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は67.3%（前連結会計年度末は66.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月14日に公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,753,467	5,446,661
受取手形、売掛金及び契約資産	2,294,855	2,374,119
電子記録債権	419,905	435,114
商品及び製品	143,015	141,650
仕掛品	238,302	253,171
未成工事支出金	20,644	40,801
原材料及び貯蔵品	501,504	643,100
その他	327,783	316,235
貸倒引当金	△5,119	△5,009
流動資産合計	9,694,358	9,645,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,809,391	1,788,949
機械装置及び運搬具(純額)	757,403	708,729
土地	954,521	954,521
リース資産(純額)	40,443	35,578
建設仮勘定	660,000	660,000
その他(純額)	49,564	49,453
有形固定資産合計	4,271,323	4,197,232
無形固定資産		
のれん	237,533	228,513
その他	70,748	65,286
無形固定資産合計	308,282	293,799
投資その他の資産		
投資有価証券	43,378	44,191
その他	164,788	150,882
投資その他の資産合計	208,167	195,074
固定資産合計	4,787,773	4,686,106
資産合計	14,482,132	14,331,950

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,687	344,188
工事未払金	301,915	354,073
短期借入金	500,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	522,791	492,082
未払法人税等	169,858	63,335
賞与引当金	40,944	65,217
その他	452,890	435,856
流動負債合計	2,264,088	2,234,754
固定負債		
長期借入金	2,065,020	1,965,897
退職給付に係る負債	156,915	159,080
資産除去債務	101,362	101,375
その他	166,756	163,957
固定負債合計	2,490,055	2,390,310
負債合計	4,754,143	4,625,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	8,113,015	8,091,340
自己株式	△713,003	△713,003
株主資本合計	9,673,948	9,652,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,784	△1,212
その他の包括利益累計額合計	△1,784	△1,212
新株予約権	55,825	55,825
純資産合計	9,727,988	9,706,885
負債純資産合計	14,482,132	14,331,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	1,435,838	2,283,459
売上原価	1,083,550	1,800,360
売上総利益	352,288	483,098
販売費及び一般管理費	296,911	344,233
営業利益	55,376	138,864
営業外収益		
受取利息	12	6
受取配当金	1,737	1,782
補助金収入	2,544	12,275
その他	2,327	2,490
営業外収益合計	6,621	16,554
営業外費用		
支払利息	1,121	4,371
その他	336	750
営業外費用合計	1,457	5,122
経常利益	60,539	150,297
特別利益		
固定資産売却益	9	149
特別利益合計	9	149
特別損失		
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	0	122
特別損失合計	10	122
税金等調整前四半期純利益	60,538	150,325
法人税、住民税及び事業税	30,767	59,909
法人税等調整額	△12,900	15,076
法人税等合計	17,866	74,985
四半期純利益	42,671	75,339
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,671	75,339

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	42,671	75,339
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△984	572
その他の包括利益合計	△984	572
四半期包括利益	41,686	75,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	41,686	75,912
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,019,045	285,609	131,184	1,435,838	—	1,435,838
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,019,045	285,609	131,184	1,435,838	—	1,435,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	361	134	—	496	△496	—
計	1,019,406	285,744	131,184	1,436,334	△496	1,435,838
セグメント利益	56,783	67,482	3,323	127,589	△72,212	55,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△72,212千円は、セグメント間取引消去5,270千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,483千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,143,304	288,079	852,075	2,283,459	—	2,283,459
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,143,304	288,079	852,075	2,283,459	—	2,283,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88,940	2,194	—	91,134	△91,134	—
計	1,232,245	290,273	852,075	2,374,593	△91,134	2,283,459
セグメント利益	58,207	60,055	86,922	205,185	△66,320	138,864

(注) 1. セグメント利益の調整額△66,320千円は、セグメント間取引消去9,880千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△76,201千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(重要な契約の締結)

当社は、2023年1月13日開催の取締役会において、株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスの株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

(株式会社ワタナベテクノス)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社ワタナベテクノス
事業の内容 防音BOX・消音ダクトの設計、製造、販売

(2) 企業結合を行う主な理由

2021年10月14日に公表した「第3次中期経営計画“Challenge”」に基づき、グループビジョンである「加工の総合商社」を展望し、M&A投資等により、事業領域を拡大することで、加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループを形成していくためであります。

(3) 企業結合日

株式取得予定日 2023年1月23日

みなし取得予定日 2023年2月28日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

取得前の議決権比率 ー%

取得後の議決権比率 100%

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	400百万円
取得原価		400百万円

3. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。
4. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。

(株式会社エヌ・テクノス)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社エヌ・テクノス

事業の内容 防音BOX・消音ダクトの設計、販売

(2) 企業結合を行う主な理由

2021年10月14日に公表した「第3次中期経営計画“Challenge”」に基づき、グループビジョンである「加工の総合商社」を展望し、M&A投資等により、事業領域を拡大することで、加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループを形成していくためであります。

(3) 企業結合日

株式取得予定日 2023年1月23日

みなし取得予定日 2023年2月28日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

取得前の議決権比率 ー%

取得後の議決権比率 100%

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	300百万円
取得原価		300百万円

3. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
現時点では確定しておりません。
4. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳
現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	
	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	946,044	131.9
ゴム加工事業	146,393	111.0
合計	1,092,437	128.7

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	1,352,761	115.6	1,451,246	97.0
ゴム加工事業	283,190	97.6	114,369	107.5
建設事業	2,492,299	509.4	4,440,068	850.8
合計	4,128,251	211.8	6,005,685	282.7

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	
	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
金属加工事業	1,143,304	112.2
ゴム加工事業	288,079	100.9
建設事業	852,075	649.5
合計	2,283,459	159.0

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
エクシオグループ株式会社	173,628	12.1	—	—

当第1四半期連結累計期間のエクシオグループ株式会社については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。